

カーボンニュートラル社会の共創に資する包括連携協定 (連携スキーム)



ずっと先まで、明るくしたい。

九電グループの方針 カーボンニュートラルの実現に向けて

- 1 電源の低・脱炭素化(供給側)
 - 再生可能エネルギーをはじめとするゼロエミッション電源比率を更に高めるなど、CO₂排出「実質ゼロ」の電気を安定的に供給
- 2 電化の推進(需要側)
 - 最大限の電化に挑戦し、需要側のCO₂排出削減に貢献
 - ・産業部門 ・運輸部門 ・業務部門 ・家庭部門



立命館アジア太平洋大学の方針 持続可能な社会の実現に向けた人材育成

- 1 新学部「サステナビリティ観光学部」2023年4月設置【設置構想中】
 - 地域の持続可能な価値を発見・プロデュースする能力を有し、観光の持つ意義と可能性を切り結ぶことの出来る人材育成
 - ※ 設置計画は予定であり、内容の変更があり得ます。
 - 資源エネルギーの専門家を招聘し、持続可能な社会の実現に向けた環境意識向上に資する講義を実施
- 2 アジア太平洋学部、国際経営学部もリニューアル
 - グローバル人材育成をけん引してきたAPUの2学部も2023年度にリニューアルします。

共通の価値観に基づき、協力・連携できる取組みを推進

【 九電グループの取組み内容 】

- ① 九電グループの知見・ネットワーク等を活用したAPUとの交流・協力
 - ・寄附講座の開設(2022年度秋以降の予定)
 - ・電気事業等の知見を持つ人材の授業等への派遣
- ② 九電グループの事業活動をAPU教育へ還元
 - ・九電グループの事業所、発電所等における学生見学・実習の受け入れ
 - ・インターンシップ等の学生の受け入れ

人的・知的資源の交流と
活用を図り、産学連携のもと
相互協力し、2050年カーボン
ニュートラル社会の共創へ

【 APUの取組み内容 】

- ③ APUの教育・研究資源を活用した九電グループとの交流・協力
 - ・APU教員による講演会等の実施
 - ・APU教員の研究成果の還元
- ④ APUのグローバルな環境を活用した九電グループへの還元
 - ・多様な国・地域出身学生との意見交換